



みんな
育てる

地域福祉

●取材協力●
大玉村社会福祉協議会
〒969-1302
安理郡大玉村玉井字東三合目19
大玉村社会福祉センターさくら内
TEL. (0243)68-2100



大玉村から広げる、若年層に向けた新しい「地域福祉」 ～出会いの場づくり事業で地域を活性化～



大玉村社協主催「出会いの場づくり事業」のひとつ。平成23年度は東日本大震災の影響で休止が続いていましたが、この日は今年度2回目となる開催。最近では自治体などが主催する同様の青年支援事業が増え、地域おこしの一環にもなっています。

近年「毎日が家と職場の往復で、異性と知り合う機会が少ない」という若年層が増え、晩婚化が進んでいます。子ども、高齢者、障がい者などへの支援の比重が大きい社協の事業から一歩踏み出し、結婚を望む独身者への支援を展開している大玉村社協の事業をご紹介します。

独身者支援する、 出会いの場づくり

2010年に行われた国立社会保障・人口問題研究所「第14回出生動向基本調査」独身者調査によると、35歳未満で交際相手がない未婚者は男性61%、女性50%に上ります。独身である理由は、25歳から34歳の男女ともに「適当な相手にめぐり合わない」が最多でした。

「大玉村の場合、20代から40代の独身者は約1300人で、総人口の15%を占めます。出会いの機会に恵まれないという声ややはり多く、社協を利用する高齢者からも、自分の孫が結婚できないと心配する声



「社協が主催者であることで、皆さんには安心して参加していただいているのではないかと思います。少人数制のため、全体的に仲良くなれるというメリットもあります」と大玉村社協事務局長の渡辺初治さん。

が口頃から寄せられています。社会福祉政策は、ゆりかごから墓場まで、と言われ、子どもや高齢者、また障がい者などそれぞれに必要なサービスを提供していますが、独身者に対する事業はそれほど多くありません。そこで大玉村社協では独身者への支援として、出会いの場づくり事業を行っています。と教えてくれたのは事務局長の渡辺初治さん。

出会いの場づくり事業は平成20年度に始まり、パーベキュー、そば打ち、ピザ作り、行楽地に出向くバスツアーなど、多くの方に興味を持ってもらえるよう多種多様な内容で行われてきました。平成22年度からは福島県地域子育て創生事業補助金の助成を受けて実施され、これまでの開催総数は15回を超えました。

吹町から参加した方も。新聞記事を読んだ両親からの勧めで参加したという郡山市30代男性は、「行動しなげれば始まらないと思った」とその動機を話してくれました。

新しい事業で 地域の活性化を

県内の各市町村は近年、人口減少の一途をたどっており、昨年末の総人口は200万人をきりました。そのようななか、大玉村は県内の村で唯一、昨年比で人口増加となりました。「大玉村は子育てしやすい環境づくりや定住人口増加対策として、昨年10月から県内初となる18歳までの医療費無料化を実施しています。また大玉村社協は男女の出会いをサポートするイベントを行っています。県内でも数少ない社協です。このような新しい事業に着手し、幅広い年齢層への支援を充実させていくことが、地域福祉を衰退させないためには重要だと思います。本来でしたら出会いの場づくり事業には大

玉村の方に参加していただきたいのですが、現在の参加者の大部分は村外の方です。でも、事業をおして人と人が結びつき、きっかけとなれば、それぞれの地域の活性化へつながるのではないかと期待しています。いずれ、商工会議所や隣接する二本松市社協などと共同で開催できるように働きかけ、事業を促進させたいです」と渡辺さんは今後を展望していました。

参加者つくる、 誰もが楽しめる事業へ

大玉村社協の鈴木哲也さんは出会いの場づくり事業が始まった当初から携わっており、イベントの企画から司会までを務めています。「社協の視点だけで事業を続けていると、問題点に気付かないことがあります。さまざまな意見を取り入れてより良いものに改善していきたいと考え



これまでに20組以上のカップルが誕生し、うち3組が結婚に結びつきました。キュービッド(?)である鈴木さん(後列右)ら大玉村社協職員も結婚式にお呼ばれし、2人の門出をお祝いました。

以前イベントに参加してくださった方にご協力いただき、次回の内容を企画してもらったり、興味を引くようなイベントのタイトルを考案してもらったりしています。イベントの申し込みは男性の場合12日、満員になるのですが、女性はなかなか集まりにくいので、多くの女性に参加したいと思うとちえ内容になるよう協力者の方と連携し取り組んでいます。」

「出会いの場づくり事業を始めたことで、20代の参加者は「社協」がどのような団体なのか知らない方が多いというところを実感したと鈴木さんは話します。「高齢者の方の事業が主であるため、若い方も社協を知らないのも仕方ないかも知れません。出会いの場づくり事業は大玉村社協を知ってもらう

県子育て支援課ホームページ「ふくしま男女の出会い支援ネット」や大玉村社協広報誌で告知するほか、若年層が立ち寄りそうな店舗などにチラシを置いて周知しています。「出会いのバスツアー in 那須 スリルと恋でドキドキ」「出会いの石釜ピザ作り恋のトッピングしませんか?」などユニークなイベントのタイトルにも注目!



良い機会だと考え、社協はこんな面白いことをやっている、という情報が広がれば良いなと思っています。大玉村からの参加者も増えるよう、さらに周知を図ってきたいです」と笑顔を見せました。